

第642回

I B C 番組審議会 議事録

— 議 題 —

「忘れない3. 11 育てるのは水産の未来
～動き始めた新しい養殖」

2019年7月25日(木)

(株) I B C 岩手放送

第642回IBC番組審議会

1. 開催日時 2019年7月25日(木) 午前11時

2. 開催場所 IBCデジタルセンター3階Dホール

3. 委員の出席 委員総数 9名(欠員1名)

出席委員 9名

出席委員の氏名

委員長 田代 高章

副委員長 熊谷 志衣子

委員 小松 務 畠山 俊彰

星 伸寿 佐藤 求

菅原 和彦 龍澤 尚孝

澤口 たまみ

会社側出席者

鎌田 英樹 代表取締役社長

黒澤 秀之 取締役営業本部長

眞下 卓也 取締役メディア放送本部長

若槻 修 報道局長

中村 好子 報道部長

江幡平三郎 アナウンス部担当部長

事務局 平澤 泰志 番組審議会事務局長

宿輪 智浩 番組審議会事務局員

4. 議題 「忘れない3. 1.1 育てるのは水産の未来

～動き始めた新しい養殖」

【6/29(土) 午後2時00分～午後2時30分放送】

5. 議事の概要

<委員の主な発言>

○三陸は海が豊かなために養殖業が遅れていて、紹介された取り組みが重要だと感じた。同時に漁業が大自然の人間の知らない部分で支えられていた事実を番組は提示していた。

○産学連携やベンチャー企業の取り組みを通じて新しい技術やビジネスへの活用を紹介していた。生業や若者が地域に残っていく可能性を視聴者に感じさせることができたのでは。

○サクラマスの陸上養殖について、メリットだけでなくコストや飼育の難しさなどの課題も説明してほしかった。30分番組なので取材対象を2つくらいに絞った方が深みが出たのではないか。

○大学生が「水産で東北を盛り上げたい」というようなコメントをしていて非常に力強いなと思った。番組では踏み込んでいないが労働力の確保は大きなポイントで、外国人労働者を雇用する流れも出てくるだろう。

○持続的な水産業を訴えるメッセージが3つの具体例でわかりやすく伝えられていた。日本は遅れているので、問題を捉えるために養殖業の世界的な流れに触れればもっとよかった。

○今回紹介した取り組みの経過をニュース番組含めて取材・放送してほしい。

○漁業の話だが、三陸沿岸が抱えている現状、課題も理解でき、「忘れない3.11」シリーズのテーマである、東日本大震災からの復興、地域創生に沿う内容だった。